

Top Message



THK株式会社
代表取締役社長

高橋 徹夫

■ 2012年度を振り返って

わが国を取り巻く経済情勢は、海外では引き続き南欧諸国の金融不安や中国経済の鈍化、国内では円高により輸出競争力の低下、電力の逼迫及び価格上昇等により厳しい状況が続きましたが、昨年12月には新政権が誕生し、アベノミクスと呼ばれる諸施策が順次打ち出されたことにより、回復の兆しを見せ始め、実体経済への浸透が期待されるところまで差し掛かってまいりました。

このような状況下においてTHKは、機械要素部品メーカーとして世界トップ10に入るべく「グローバル10 21」を掲げて、「グローバル展開」を進めております。具体的には、顧客対応の充実を図るため機械化需要、自動車部品需要が見込まれる中国において販売拠点を4つ増やし34拠点としました。成長が期待されるインドではバンガロールに現地法人を設立いたしました。一方生産面では最適地生産を目指し、中国の無錫工場に第3工場を建設し、さらにリズム常州工場を完成させました。また、南北アメリカ大陸での自動車部品の供給体制強化のために、メキシコにリズムメキシコ工場を計画し建設に着手いたしました。また開発面では、海外初となる研究開発部門であるR&Dセンターを昨年4月に中国遼寧にて稼働させました。

■ 更なる社会貢献を目指して

さて、THKの経営理念は「世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する」というものです。すなわち、新たな製品開発や市場の創造をすることで、「豊かな社会作りに貢献」していきたいと考えております。

THK製品は、様々な機械、装置、設備等において、重い物を軽い力で、かつスムーズに動かし、同時に高精度を実現いたします。このため、マザーマシンといわれる工作機械や産業用ロボット、半導体製造装置等には不可欠な製品で、これらの機械の進歩に貢献してまいりました。また近年では、新規分野でも高く評価され、医療機器や自動車部品としても不可欠な製品となっております。

今後は、大震災時に建物や資産はもちろん、人命も守ることができる免震・制震装置や、高齢化社会に欠かせないヒューマノイドロボット、地球温暖化防止のための再生エネルギー分野における風力発電や小型水力発電等にも貢献してまいります。

当社の直動システムは、各種のメカニカル機構において、摺動抵抗を著しく小さくし、消費電力も画期的に少なくすることができます。このことは、モーターサイズも小さくなり、機械構造も極端にコンパクトにできることを意味しており、エネルギーや資源の節約、トータルコストの削減に多大な貢献をしております。

本業を通じた 社会貢献を継続する

■ お客様の要求に応える製品開発

製造業の課題は、社会が求める新しい技術や製品を常に生み出す力にあると思います。当社は、多くの特許を有しておりますが、これらは生鮮食料品と一緒に、いずれ陳腐化いたします。新しいものを次々と生み出していくためには、人が大事です。また人は、「モノづくりの知恵」「マーケットの知恵」「自分達の知恵」を統合的に用いることが大切です。

このため、私は社員に「顧客の心で考え、顧客の心で行動する」ことを常に求めてきました。お客様のニーズは、万国共通であります。「より良い製品を、適切な価格で、必要なときに、必要なところで、必要な量だけ欲しい」というご希望は、日本のお客様に限った話ではありません。このような世界中のお客様の要求に応えていくためには、お客様が求めておられるものを謙虚な心で想像し、100%これに応えていくという姿勢が大切です。これらの要求には顕在的なものも潜在的なものもあります。当社では、お客様の顕在的、潜在的な要求が、新製品や新技術となってご期待に添えるよう技術開発に力を入れております。

また、お客様さえ気付いておられない使用用途へのご提案もしております。例えば、免震装置や制震装置は、直動システムを応用した装置ですが、高層ビルや戸建て住宅の免制震には不可欠な製品になりました。さらには、免震テーブルは、サーバー装置や高価な生産設備、文化財、美術品等の免震化に絶対

的に必要な機器となっております。駅ホームでの落下防止装置としてのホームドアも今後普及が拡大するものと思われます。T H Kは、社会の安全、安心につながる用途でも、お役に立ちたいと常に考えております。

■ 最後に

このように、T H Kがお客様のご期待に応じて社会貢献ができますのも、日頃からご支援をいただいておりますお客様、お取引先、株主の皆様、社員等様々なステークホルダーの皆様のお陰であると、この場をお借りし深く感謝申し上げます。

今後もステークホルダーの皆様のご意見を製品開発や経営に活かしつつ、社会貢献にも努めてまいります。

なお、今回のCSRレポートでは、この経営理念に則った、「本業を通じた社会貢献」の例をできる限りお伝えいたします。是非ともご高覧いただきますようお願い申し上げます。